

はじめに

平成9年度以降の市の財政は、長引く景気低迷の影響などにより、市税を中心とした歳入が年々減少する一方、少子高齢社会の進展に伴い、扶助費や医療費が大幅に増加したことなどが原因で、平成11年度から平成15年度まで5年連続して普通会計の実質収支が赤字となるなど、大変厳しい状況が続きました。

こうした状況のなか、職員数の抑制や給与制度の見直しをはじめ、各種事務事業の見直しを行うなど、行財政改革を積極的に推進するとともに、国・府の補助制度等を有効に活用するなど、あらゆる財源の確保に努めたことにより、平成16年度には、6年ぶりに黒字にすることができました。平成17年度・平成18年度においても、引き続き行財政改革を推進したことにより黒字を確保できたものの、地方交付税の総額が年々抑制されるなど、依然として厳しい状況にあります。

このような市の財政状況をより多くの市民の方に理解をしていただくため、今回、過去10年間の財政状況（普通会計）の推移や市の資産（財産）と負債（借金）の状況などをグラフ等も活用しながら、わかりやすく解説した「寝屋川市の財政」を作成しました。